



2021年2月3日

各 位

会 社 名 株式会社 荇原製作所  
 代表者名 代表執行役社長 浅見 正男  
 (コード番号 6361 東証第1部)  
 問合せ先 執行役 経理財務統括部長 長峰 明彦  
 (電話 03-3743-6111)

## 連結業績予想の修正及び個別業績見込みと前期実績値との差異に関するお知らせ

2020年11月12日に公表した2020年12月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、2020年12月期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

2020年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	513,000	32,000	29,500	18,500	194.21
今回修正予想 (B)	523,700	37,800	37,000	24,600	258.17
増減額 (B)-(A)	10,700	5,800	7,500	6,100	—
増減率 (%)	2.1%	18.1%	25.4%	33.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	522,424	35,298	35,571	23,349	241.79

#### 連結業績予想修正の理由

売上高は、すべての事業において予想を上回ったことにより、前回発表予想の5,130億円から107億円増加し5,237億円となる見通しです。

営業利益は、すべての事業において予想を上回ったことにより、前回発表予想の320億円から58億円増加し378億円となる見通しです。

経常利益は、営業利益の増加、持分法投資損益など営業外収益の増加により、前回発表予想の295億円から75億円増加し370億円となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加等により、前回発表予想の185億円から61億円増加し246億円となる見通しです。

<参考 セグメントごとの連結業績見通し>

		風水力事業	環境プラント 事業	精密・電子 事業	その他	全体
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	前回発表予想 (A)	306,500	65,000	140,000	1,500	513,000
	今回修正予想 (B)	313,600	67,500	141,100	1,500	523,700
	増減額 (B)－(A)	7,100	2,500	1,100	－	10,700
	増減率 (%)	2.3%	3.8%	0.8%	－%	2.1%
セグメント利益		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	前回発表予想 (A)	16,000	6,000	10,500	△500	32,000
	今回修正予想 (B)	19,800	7,100	11,400	△500	37,800
	増減額 (B)－(A)	3,800	1,100	900	－	5,800
	増減率 (%)	23.8%	18.3%	8.6%	－%	18.1%

(風水力事業)

売上高は、前回発表予想の 3,065 億円から 71 億円増加し 3,136 億円となる見通しです。セグメント利益は、前回発表予想の 160 億円から 38 億円増加し 198 億円となる見通しです。これは主に、コンプレッサ・タービン事業の収益性改善によるものです。

(環境プラント事業)

売上高は、前回発表予想の 650 億円から 25 億円増加し 675 億円となる見通しです。セグメント利益は、前回発表予想の 60 億円から 11 億円増加し 71 億円となる見通しです。これは主としてO&M事業(プラントの運転管理・メンテナンス)における収益性改善によるものです。

(精密・電子事業)

売上高は、前回発表予想の 1,400 億円から 11 億円増加し 1,411 億円となる見通しです。セグメント利益は、前回発表予想の 105 億円から 9 億円増加し 114 億円となる見通しです。これは主として売上増加と収益性改善によるものです。

## 2. 個別業績見込みと前期実績値との差異について

2020年12月期 個別業績見込みと前期実績値との差異 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	220,266	2,037	17,317	15,978	165.46
当期見込み (B)	230,900	2,700	24,700	23,200	243.48
増減額 (B)－(A)	10,633	662	7,382	7,221	—
増減率 (%)	4.8%	32.5%	42.6%	45.2%	—

### 差異の理由

売上高は、精密・電子事業の伸長により、前期実績の2,202億円から106億円増加し2,309億円となる見込みです。

営業利益は、精密・電子事業の伸長により、前期実績の20億円から6億円増加し27億円となる見込みです。

経常利益は、営業利益の増加、受取配当金の増加の影響等により、前期実績の173億円から73億円増加し247億円となる見込みです。

当期純利益は、経常利益の増加等により、前期実績159億円から72億円増加し232億円となる見込みです。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来業績に影響を与える不確実な要因に係る一定の前提に基づいています。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上